

学校教育目標 「思いやりのある子」「進んで学ぶ子」「元気でたくましい子」



桑っ子だより



加須市立大桑小学校だより 令和7年2月3日 2月号(1月24日作成)



「未来へ羽ばたく子供たちへ ～挨拶と笑顔、そして学びの楽しさ～」

校長 二階堂 朝光

一月は、「行く」、二月は、「逃げる」、三月は、「去る」とよく言われます。3学期も、あっという間に、1か月が過ぎ、2月となりました。弥生3月も近づき、本格的な春の訪れを前に、学校では各学級や児童会で「6年生を送る会」の準備をはじめ、校内なわとび大会など1年間の学びのまとめや楽しい思い出作りが進められております。

「卒業記念制作」に取り組みながら、この6年間で振り返ると共に、中学校という新しい環境への期待で、胸を膨らませている6年生の姿からは、「成長」を感じ取ることができます。

在校生も、しっかりと1年間で振り返り、新しい学年への目標などを考える絶好の時期です。進級への期待を胸に、今までの反省をふまえ、「当たり前」のことが当たり前でできる子供になったか」について反省し、がんばってほしいと考えます。

ご家庭においても、特に3つのことについてお力を入れていただき、安心した進学・進級のご準備をお願いいたします。

一つは、「早寝、早起き、朝ご飯を習慣化して生活のリズムを作っておく。」ということです。決められた流れにしっかりと適応できる心身があつてこそ、子供は力を発揮し、楽しい学校生活を送ることができます。

二つ目は、「元気の良い挨拶と返事ができる。」ことです。挨拶と返事はコミュニケーションの基礎とも言われ、豊かな友達関係を築くことができます。

三つ目は、「人の話を聴くことができる。」ということです。

「聴」という字は、「耳」＋「目」＋「心」から成り立っています。「聴く力」は「話す力」にもつながっています。

特に大切なのは、「挨拶をしっかりできる」「時間を守ることができる」「身の回りのことを自分でできる」といった、当たり前のことを当たり前でできることです。これらの基本的な行動は、子供たちが学校生活をスムーズに送り、友達との関係を築く上で欠かせません。

また、「聴く力」も非常に重要です。人の話を最後までしっかりと聴くことは、相手の気持ちを理解し、より深いコミュニケーションを築くことに繋がります。そして、「聴く力」は「話す力」を育む土台にもなります。

本校では、子供たちが心身ともに健やかに成長できるよう、様々な取り組みを行っています。例えば、個別最適な学びに関する研究やスペシャルサポートルームの運用など、子供たちの成長をサポートするための環境を整えています。保護者の皆様には、ご家庭でのしつけを通して、子供たちの自立心を育ていただければ幸いです。

子供たちは、皆、無限の可能性を秘めています。これからの社会で活躍できる人材となるよう、本校は子供たちの成長を全力で応援していきます。